

ころがり抵抗 20%低減、非石油系資源 80%のエコフラッグシップタイヤ
「DNA dB super E-spec」発売開始

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、当社の環境貢献活動である「ecoMOTION」の一環として昨年12月に発表したエコタイヤ「DNA」シリーズのフラッグシップタイヤ「DNA dB super E-spec（ディーエヌエー・デシベル・スーパーイースペック）」を7月1日より発売する。発売サイズは195/65R15 91H、185/65R15 88H、195/55R16 86Vの限定3サイズ。価格はオープンプライス。

「DNA dB super E-spec」は、あらゆる面で地球環境に貢献する究極のエコタイヤをめざして開発した。「オレンジオイル」を配合した新コンパウンド「スーパーナノパワーゴム」や、空気抜けを大幅に抑制する新素材インナーライナー「空気透過抑制フィルム※」など環境性能を高めるさまざまな最新技術を採用し、走行・安全性能を犠牲にすることなく「DNA」シリーズ最高のころがり抵抗 20%低減（DNA dB ES501 比）を実現した。また、原材料における非石油系資源の使用率を 80% に高めるなど、限りある石油資源の保護にも貢献する。トレッドパターンには静粛性に定評のある「DNA dB ES501」のパターンを継承した。

※空気透過抑制フィルムの素材は日本国内特許を取得済み。

横浜ゴムでは、グループで取り組む環境貢献活動のスローガンを「ecoMOTION」と名付け、各種環境貢献商品の開発、生産・事務部門での環境貢献活動を推進しているほか、環境貢献活動の支援を行っている。こうした中、「DNA dB super E-spec」は環境貢献商品におけるシンボリック商品となる。



エコフラッグシップタイヤ「DNA dB super E-spec」

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ

〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 3432-8430

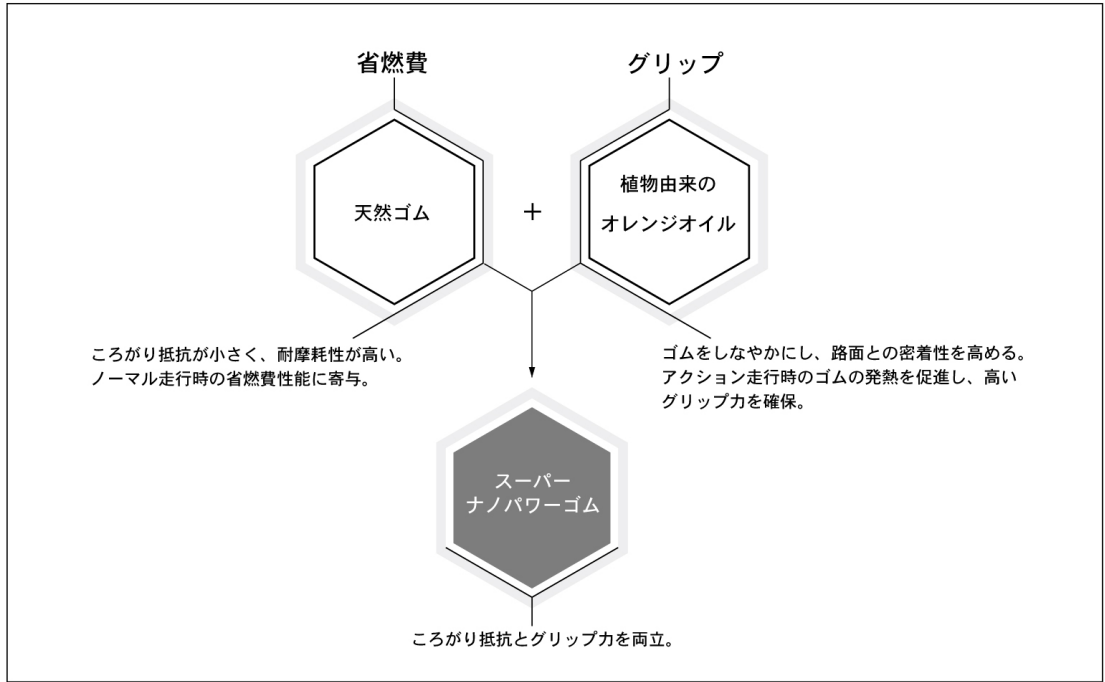


THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-3432-8430

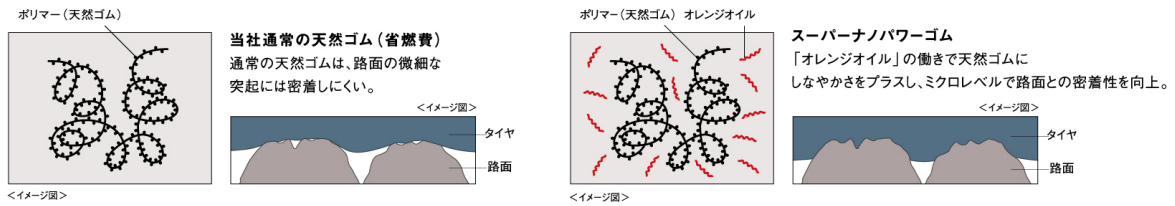
ころがり抵抗を20%低減した「スーパーナノパワーゴム」

「スーパーナノパワーゴム」は、天然ゴムに植物由来の「オレンジオイル」を配合した新コンパウンド。従来品（DNA dB ES501）に比べ、ころがり抵抗を20%低減しながら、高いグリップ力を発揮する。



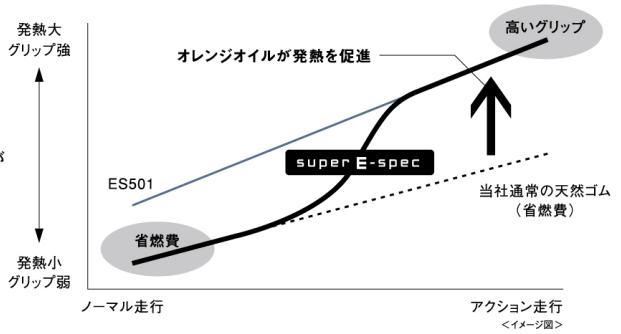
「オレンジオイル」が、ころがり抵抗とグリップ力を両立

石油系オイルに替えて採用した「オレンジオイル」は天然ゴムになじみ、タイヤ表面をしなやかにする。しなやかになったゴムは、マイクロレベルで路面の微細な突起にも密着。接地面積を広げることによって、ころがり抵抗の小さい天然ゴムに、確かなグリップ力を与える。



アクション走行時の発熱を促進する「オレンジオイル」

タイヤのグリップ力はゴムの発熱によって高まる。「DNA dB super E-spec」は、通常のノーマル走行時には、天然ゴムベースのコンパウンドで発熱を抑制することで燃費に寄与。コーナリングや制動などのアクション走行時には「オレンジオイル」がゴムの発熱を促進。走行状態に合わせてゴムの発熱をコントロールし、高いグリップ力を確保する。

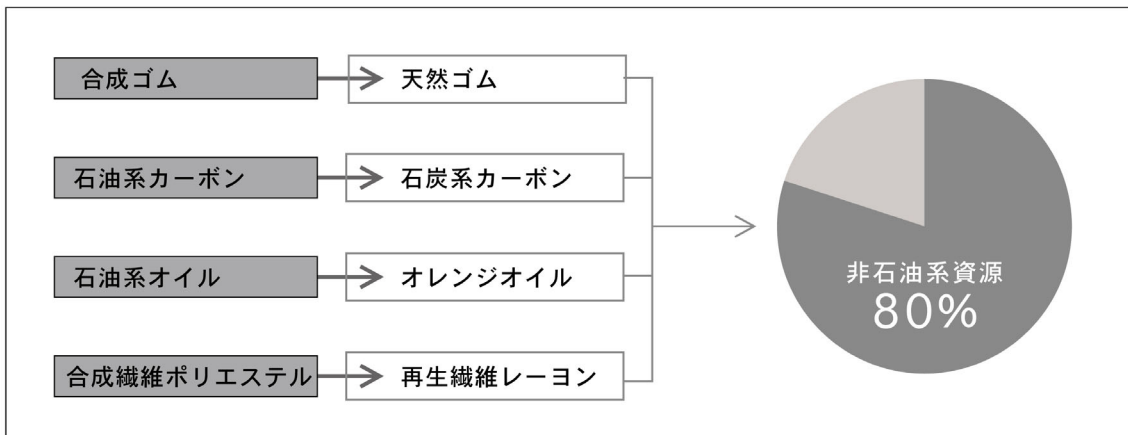


当社レギュラー製品 (DNA dB ES501) : 94.6/DNA dB super E-spec E501E:75.3
 <試験方法>室内当社ドラム抵抗試験機による、ころがり抵抗係数 (RRC) を測定。
 <試験条件>タイヤサイズ/185/65R15 88H、リムサイズ/15×6JJ、
 空気圧/230kPa、負荷荷重/4kN
 ※テスト結果に関する詳細なデータはタイヤ公正取引協議会に届け出てあります。

非石油系資源率を80%に向上し、石油資源の保護に貢献

多くの原材料を非石油系資源に切り替えることで、限りある石油資源への依存度を低減。また、LCA（ライフサイクルアセスメント）などの環境指標評価に基づいてCO₂排出量の削減に配慮した。

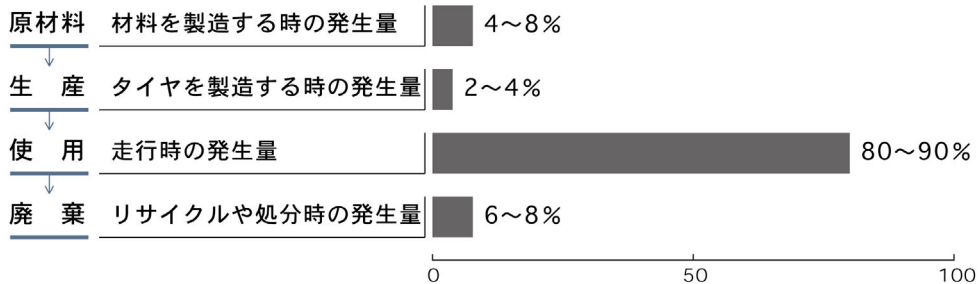
■主な原材料を非石油系資源にし、環境負荷を低減



■LCAの活用でCO₂排出量の削減に貢献

LCA（ライフサイクルアセスメント）とは、製品が生産から廃棄までの間に、どれだけ環境に負荷を与えるかを数値データで分析する手法。「DNA dB super E-spec」は、原材料の製造時から装着したクルマが走行する時、タイヤの廃棄時までの全生涯を通してCO₂排出量を分析評価し、開発に活かしている。

●タイヤの製品ライフサイクルにおけるCO₂の排出量

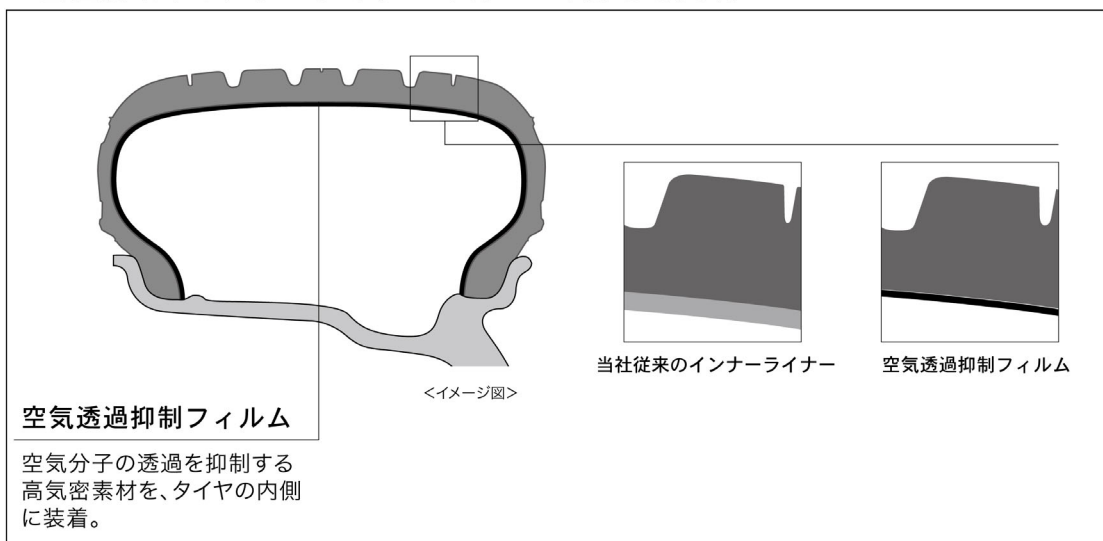


※上記はヨコハマのタイヤ製品について、おおよその数値をグラフ化したもの。

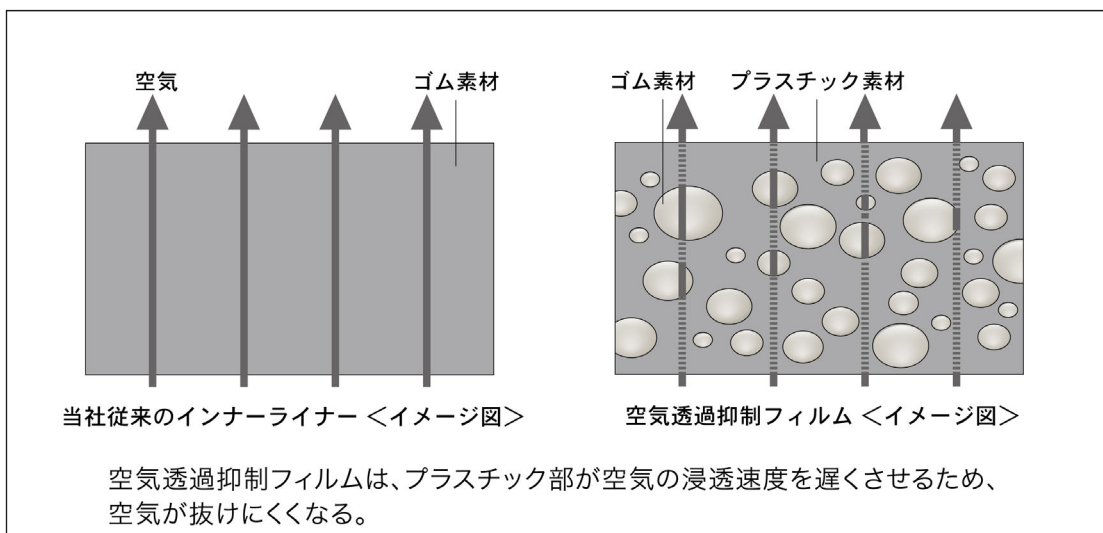
軽量化と燃費の悪化防止に寄与する「空気透過抑制フィルム」

「空気透過抑制フィルム」は、ゴム素材の持つしなやかさと、空気漏れを効果的に抑制するプラスチック素材の特性を併せ持つ新素材。高気密でありながら、従来のインナーライナーの約5分の1の薄さで使用できるため、タイヤの軽量化に貢献する。また、タイヤの空気漏れを効果的に防ぎ空気圧を適正に保つことで、燃費の悪化を抑制する。

■当社従来のインナーライナーの約1/5の薄さを実現



■プラスチック素材の配合で空気の透過を効果的に抑制



優れた静粛性を発揮するデシベルパターンを継承

ラウンドサイプ

ゆるやかな円弧状のサイプでエッジの効きを強化。ウェット路面の走行時に確かなハンドリングを導く。

低ノイズサイドグループ

サイドウォールの振動が車体との共振を抑制し、ロードノイズを低減。

ワイドストレートグループ

直進性、排水性を高める4本グループ。ウェット路面での高速走行時に安定した操縦性能を発揮。



バリエابل・コンビネーション・サイプ

タイヤ全周に細かくサイプを施し、144個ものブロック数を実現。接地面の数を増やすことで、回転時の音を分散させた。また接地面をできるだけ小さく、細かくすることで個々のブロックが路面を叩くときの衝撃音も低減する。

ノイズを抑える5ピッチバリエーション

大きさが異なる5種類のピッチ（ブロック）配列をさらに左右で少しずらし、配列と位置を最適化。走行時のノイズ周波数を分散させて、耳ざわりな音域のパターンノイズを抑える。

面数が多いほど、音は小さくなる。

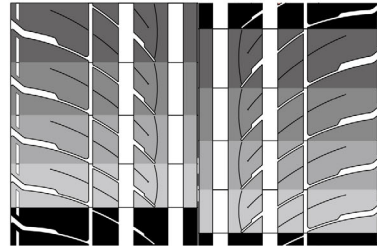
<イメージ図>



接地面の数が少ないと回転時の音も激しい。

接地面の数が増えると回転時の音が小さくなる。

真円ではさらに回転時の音が小さくなる。



ピッチ配列イメージ図

発売サイズ

インチ	扁平率 (%)	タイヤサイズ
16	55	195/55R16 86V
15	65	185/65R15 88H
		195/65R15 91H

ご掲載時の読者のお問い合わせ先
タイヤお客様相談室
TEL : 0120-667-520 (フリーダイヤル)

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム (株) 広報部 担当: 入江 石塚
TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-3432-8430